



富士山静岡空港の名前にぴったりのデザイン

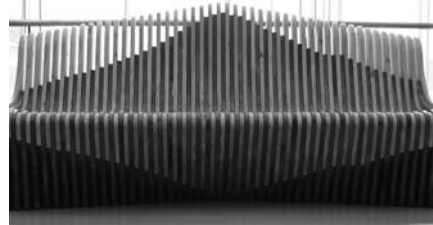
富士山静岡空港に登場 F S C 森林認証木のベンチ

本町内の F S C 森林認証木を使用したベンチが富士山静岡空港の2階にお目見えしました。木の温もりあふれるこの F S C 森林認証木ベンチ。空港利用や見学の際には、ぜひご利用ください。



昨年6月4日、県民の期待を背負って開港した富士山静岡空港。このほど本町産の木材を使用したベンチが空港内にお目見えしました。県山林協会志太榛原支部の事業として本町産業課が主管し、本町内の F S C 認証の木材を使用して、(株)コール(静岡市・認証番号・SA-COC-002057)が制作しました。文沢杉山サイトから切り出されたスギ材と、東藤川山下サイトから切り出されたヒノキ材が使用されています。

富士山静岡空港の名称にふさわしく「富士山」を基調としてデザインされたこのベンチ。一目でそれと分かるデザインが特徴です。正面から見たイメージはもちろん、背面にも富士山が透かして見えるようになっていきます(背面の富士山は、エスカレータを上



デザインには「宝永山」も忠実に再現されています。

がってきた搭乗客から見ることができません。また、足元にも逆さ富士が表現されるといふ熱の入れよう。このデザインは着色ではなく、スギ材とヒノキ材の板を組み合わせることで描き出されています。一般に家具の材料としては、硬度が高い広葉樹が好まれますが、今回は軽くてやわらかく、温か味があり、木目も美しいスギ材とヒノキ材を組み合わせて使用しました。

ベンチの贈呈式は4月26日、同空港3階ロビーで開かれ、同日、空港内に設置されました。空港にお越しの際は、ぜひ座り心地を試してください。

F S C 森林認証制度…森林が適切に管理されているか第三者機関が国際的に統一された基準に沿って審査、認証する制度。1996 Forest Stewardship Council A.C.F-net大井川(認証番号SA-FM/COC-001841)



川根茶の日記念ヘッドマークを付けた S L も

「川根茶の日」イベント 新茶シーズンの到来を喜び

川根お茶街道推進協議会が主催する川根茶の日イベントは4月18日、フォーレなかかわね茶茗館で開かれ、大勢の来場者が訪れました。新茶シーズンの到来を肌で感じた1日をカメラが追いました。

川根お茶街道推進協議会が主催する川根茶の日イベントは4月18日、フォーレなかかわね茶茗館で開かれ、大勢の来場者が訪れました。立春から七十七夜に当たる4月21日を「川根茶の日」と制定し、直近の日曜日にイベントを開催しています。

午前11時から始まったこのイベントでは、入れたての川根茶を無料で振る舞う川根茶接待、お茶の銘柄を当てる闘茶会、川根茶の手揉み体験、川根茶で作る創作料理の試食、茶餅つきなど体験コーナーが目白押し。来場者が殺到しました。芝生広場では、川根高校吹奏楽部の演奏や大道芸、赤石太鼓などが来場者の注目を集め、川根お茶街道の P R 曲である川根茶つ、ちゃ街道も披露されました。



1 芝生広場で。吹奏楽や赤石太鼓、大道芸を楽しむ来場者 2 川根茶通に挑戦。闘茶会の様子 3 川根茶の日を記念した S L も運行された 4 イベントに先立ち献茶式を挙げる 5 館内には川根茶を使ったおいしい創作料理が並んだ 6 ステファンさんが入れるフレーバーティーも大好評

川根茶の日…川根茶の販売促進と P R のため、立春から数えて七十七夜にあたる4月21日を川根茶の日として制定(平成18年度)。お茶といえば八十八夜が一般的だが、茶農家の繁忙期を避け、七十七夜にあたる日を選定した。

ここにも、一つの物語。広報かわねほんちょう